



北陸銀行の創業

北陸銀行は、加賀前田家の出資を受け、加賀藩祖「前田利家」ゆかりの銀行として創業されました。

1877年8月	金沢第十二国立銀行開業（創業）
1879年2月	富山第百二十三国立銀行開業
1943年7月	十二・高岡・中越・富山の前身4行合併により「株式会社北陸銀行」設立
1950年1月	外国為替業務開始（地銀初）
1961年9月	東京証券取引所に上場



北海道銀行の設立

北海道銀行は、戦後復興期、新興産業の勃興と人口の急増に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

1951年3月	「株式会社北海道銀行」設立
1961年4月	外国為替業務開始
1962年5月	札幌証券取引所に上場
1987年9月	東京証券取引所一部に上場



地域金融として初の広域地域金融グループとなるほくほくフィナンシャルグループを設立

依然金融機関にとって厳しい環境が続く中、2004年9月に経営資源をより有効に活用する経営の効率化、広域ネットワークを活用した営業力の強化および経営基盤の安定化を目指し、北陸銀行・北海道銀行が経営統合し、2行を中心としたほくほくフィナンシャルグループが誕生いたしました。



ほくほくフィナンシャルグループの歩み

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸・北海道に基盤を置く地域金融機関として、
長らく地域とお客さまの繁栄に貢献してきました。
今後とも地域と共に成長・発展することで、共有価値を創造してまいります。

2020年6月

環境省が実施する「令和2年度E S G地域金融促進事業」の支援先機関として採択

2021年2月

「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定
「TCFD」提言への賛同

2021年3月

北海道銀行 設立70周年

2019年4月

「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、
「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定

2016年4月

ほくほくTT証券設立

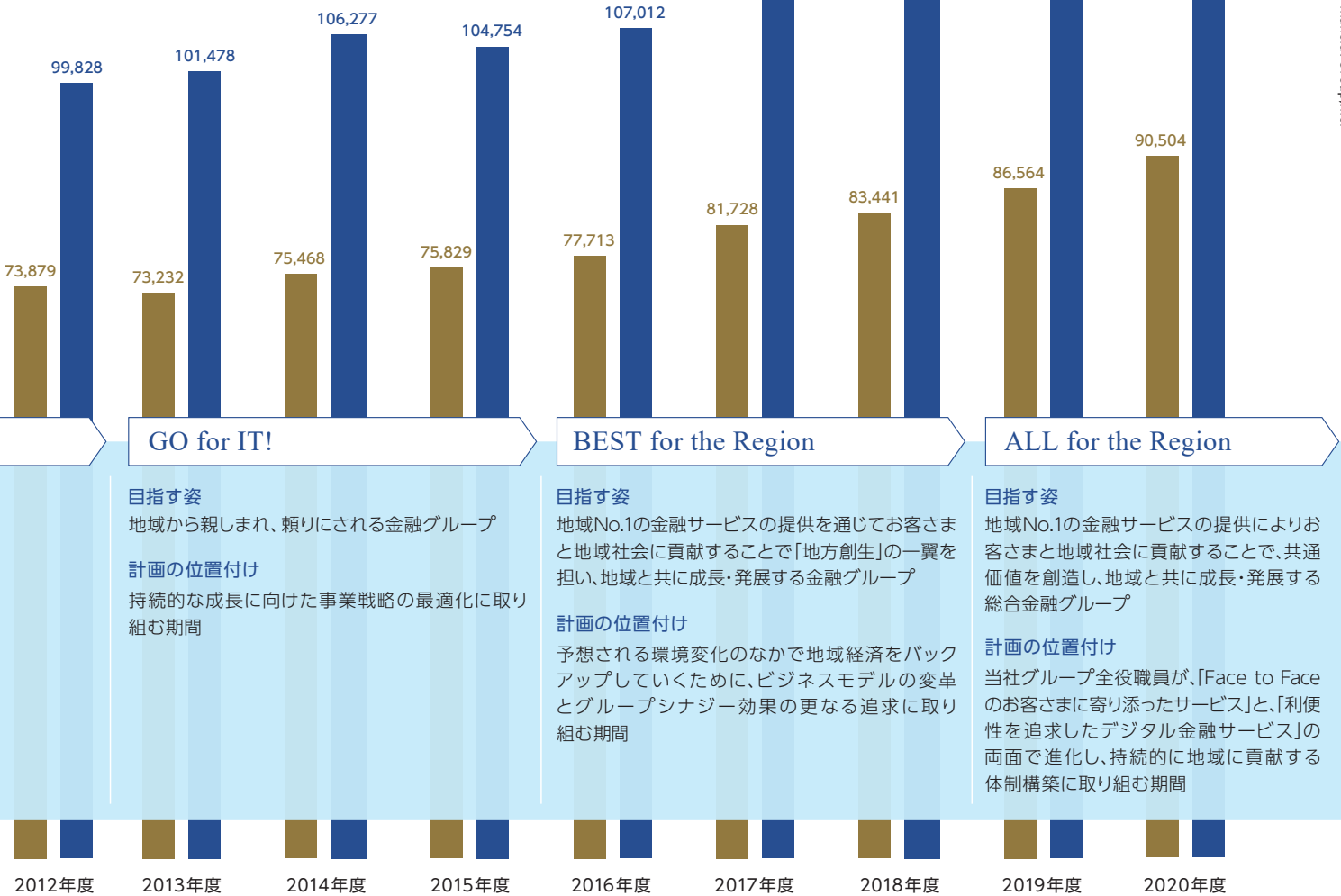
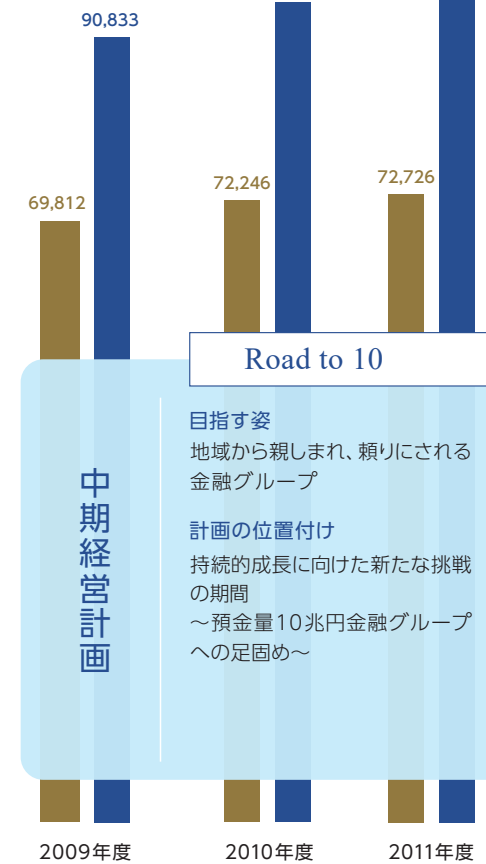
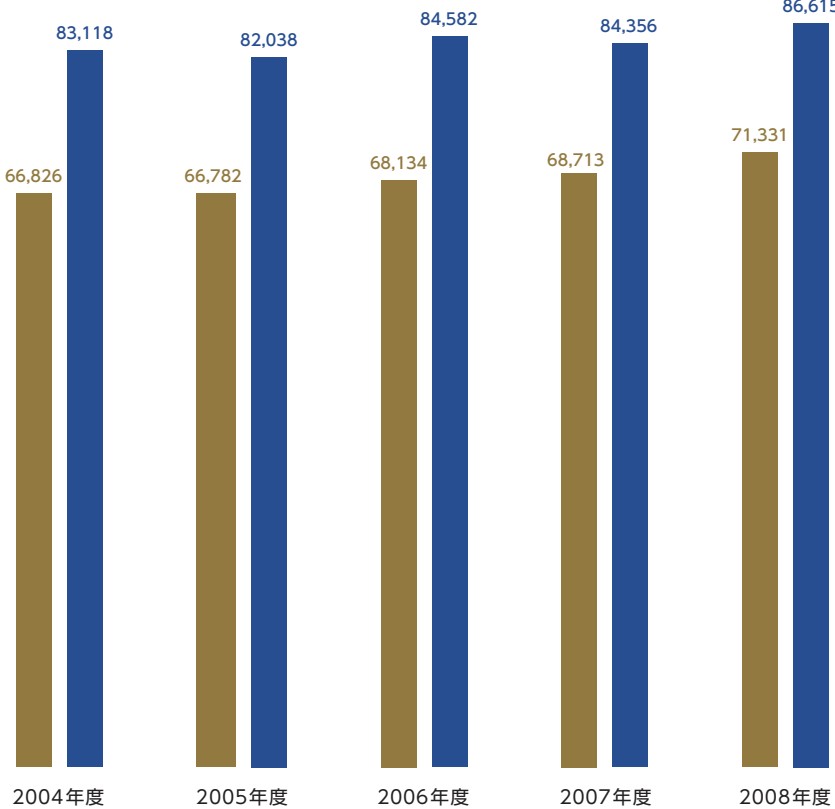
2011年5月

3行共同利用システム「MEJAR」稼働

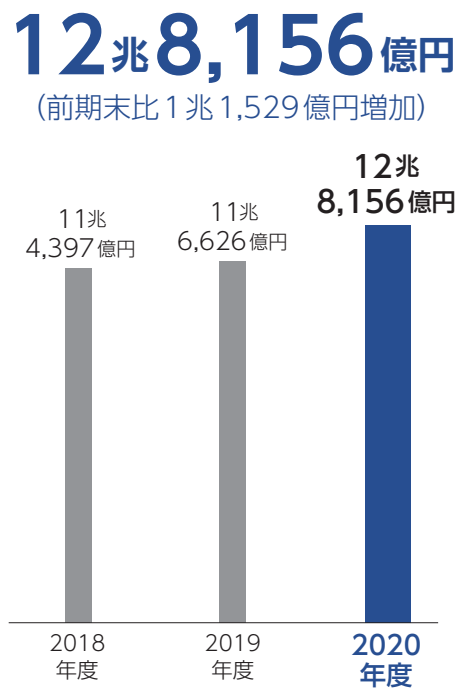
北陸銀行、北海道銀行が横浜銀行との 基幹系システム
共同利用を開始

■ 貸出金（末残） ■ 預金（末残）含む譲渡性預金
（単位：百万円）

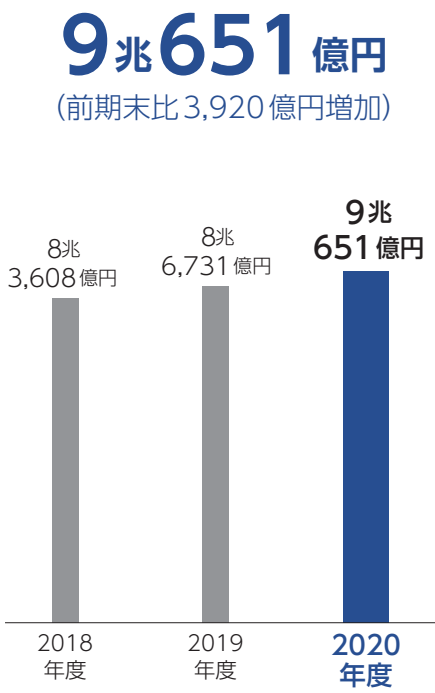
2004年9月 ほくほくファイナンシャルグループ誕生



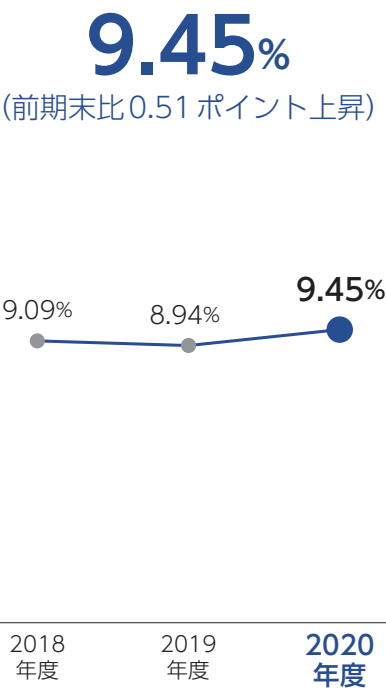
預金・譲渡性預金期末残高(2行合算)



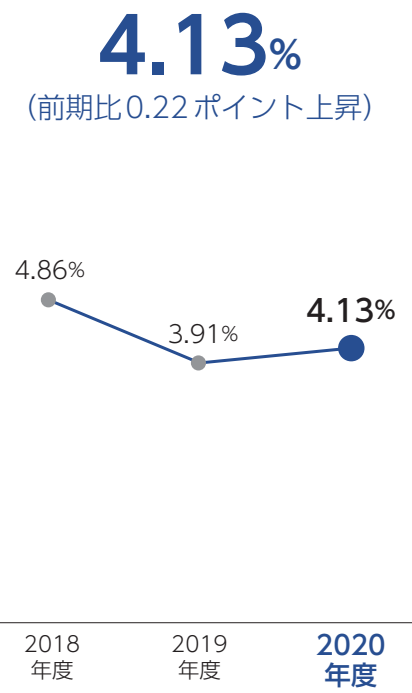
貸出金期末残高(2行合算)



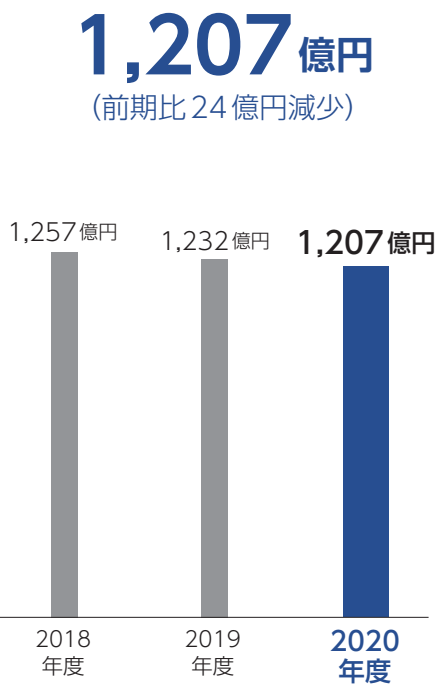
自己資本比率(連結)



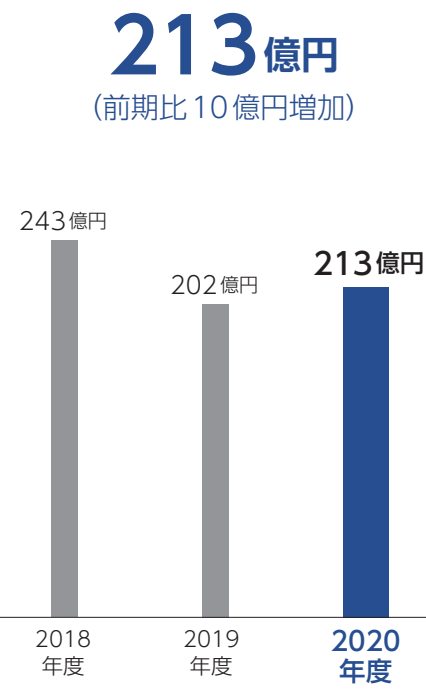
自己資本利益率(ROE)(2行合算)
当期純利益ベース



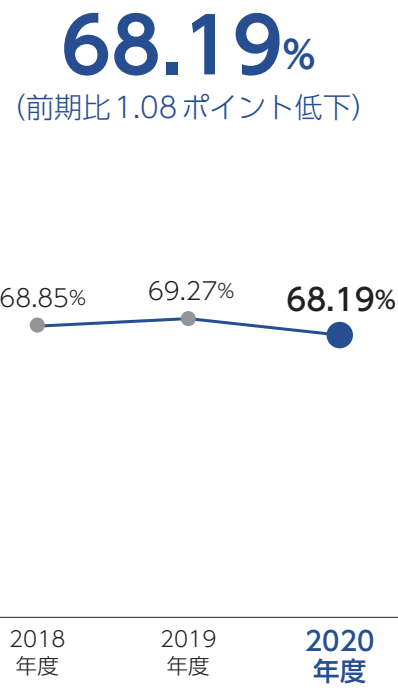
コア業務粗利益(2行合算)



親会社株主に帰属する当期純利益(連結)



OHR(2行合算)



格付の状況



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

私たちの強み

当社グループが培ってきた強みを活かし、地域社会へ貢献するとともに、

当社グループの持続的な成長を実現してまいります。

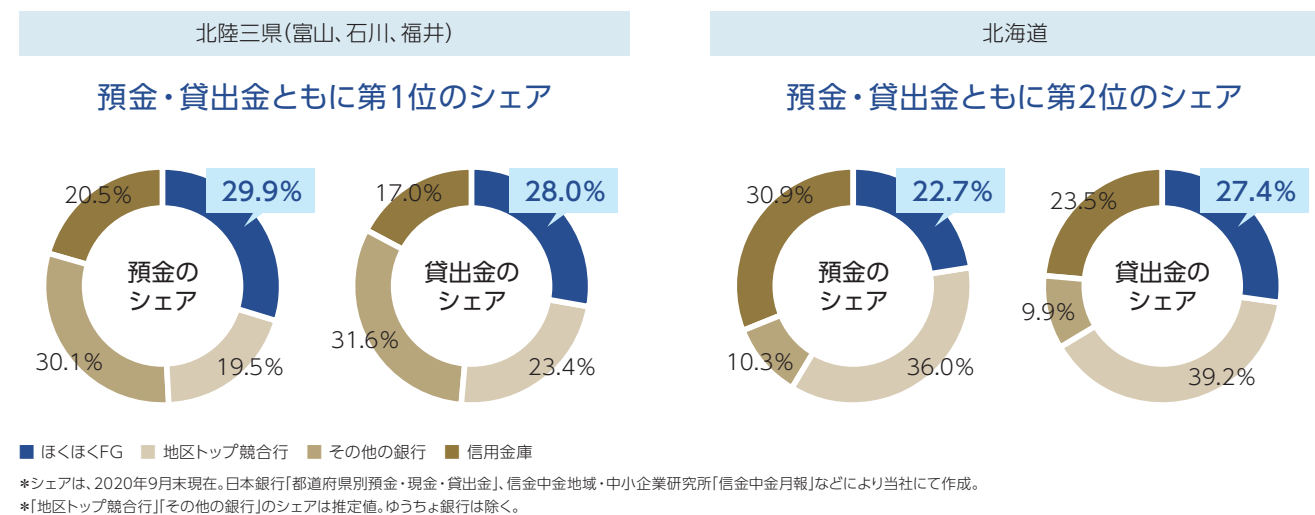


歴史に裏打ちされたお客さまとの「取引基盤」

- 1877年創業の北陸銀行と1951年設立の北海道銀行
- 2004年の経営統合から17年目
- プライムエリアである北陸・北海道を中心に数多くのお客さまにお取引いただき、長い歴史の中で共に歩み、成長してきた歴史

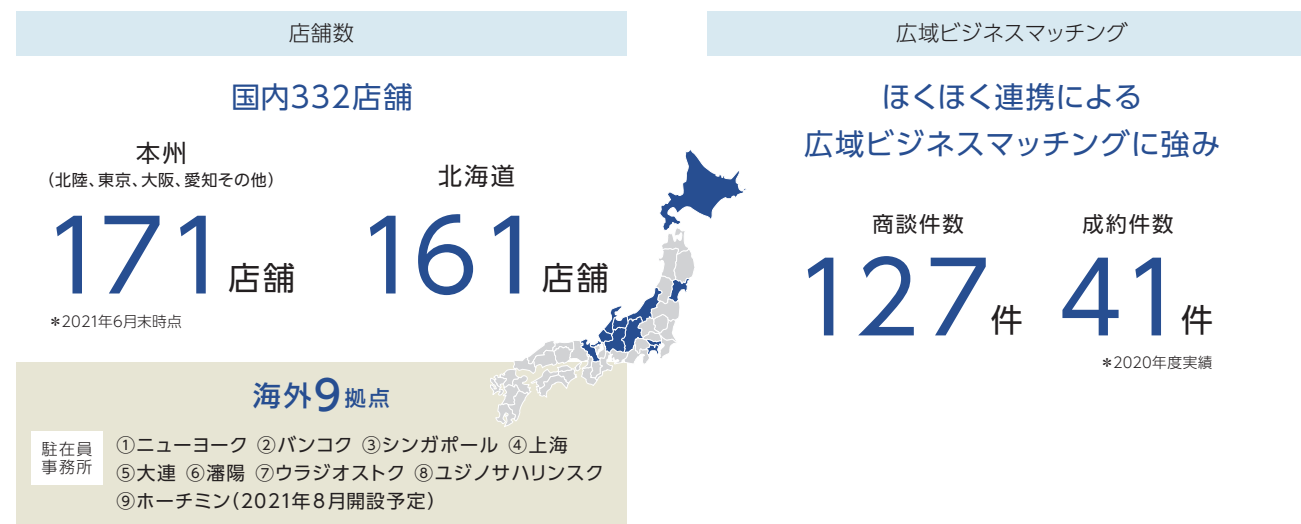
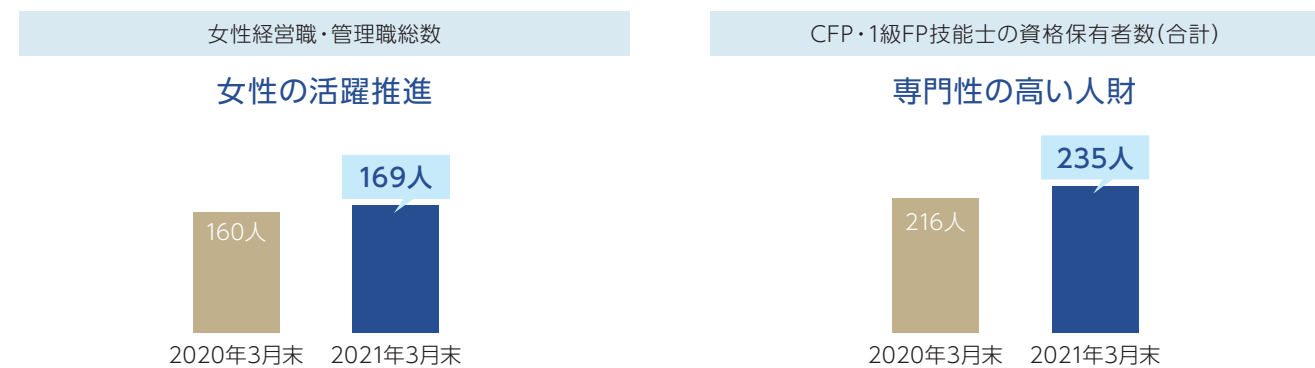
地銀グループでは類をみない「広域店舗網」

- 北陸、北海道、三大都市圏に広域店舗網を有し、海外にも9拠点を広く展開
- 広域のビジネスマッチング等の広域連携力
- 様々な営業形態の店舗への移行や営業時間の弾力化など店舗機能の最適化を実施



多彩な「人財」

- 北陸地域の特性と言われる勤勉さと北海道の開拓精神を持った「バラエティ豊かな人財」
- 積極的な女性登用とダイバーシティの推進
- 事業承継やM&A、農業関連業務、国際業務などの分野において、地方銀行トップクラスのノウハウを有する



地方自治体や大学等との「パートナーシップ」

- 連携を通じて、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや、地域のリテラシー向上に向けた教育を積極的に推進
- 海外販路拡大など、地元企業の海外進出を支援



地域のポテンシャル

当社グループは、北陸3県と北海道を中心に広域展開して

おります。それぞれの地域が秘めるポテンシャルを活かし、地域と共に発展してまいります。



北陸3県の地域特性

- 東京、名古屋、大阪の三大都市圏の中央に位置
- 全国でもトップクラスの教育圏
- 日本海側随一の工業圏
- 良質で豊かな水資源



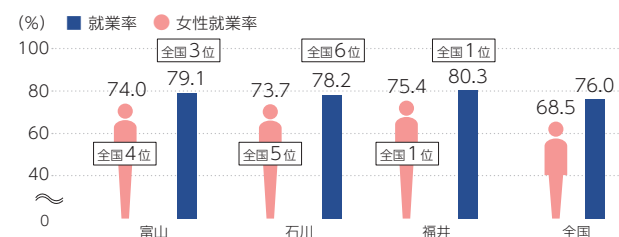
本州の中央に位置する北陸

三大都市圏からいずれも300km圏内に位置し、北陸新幹線開業で首都圏からの所要時間は2時間台となっています。



高い教育水準、勤勉な人財 女性が働きやすい環境

進学率が高く、離職率は低い特徴があります。三世代同居で共稼ぎの家庭が多く、働く女性が多いのも特徴です。

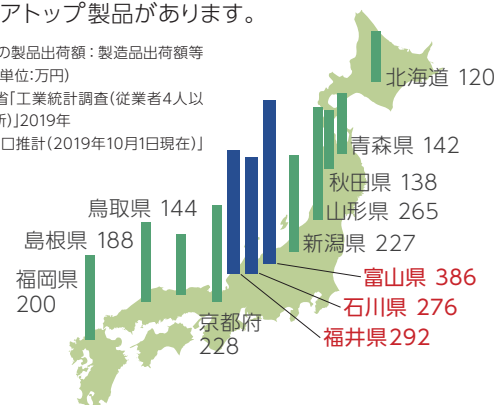


出典：就業率：生産年齢人口(15～64歳)の就業率(単位：%)
出典：総務省「就業構造基本調査報告」2017年

北陸は日本海側随一の工業圏

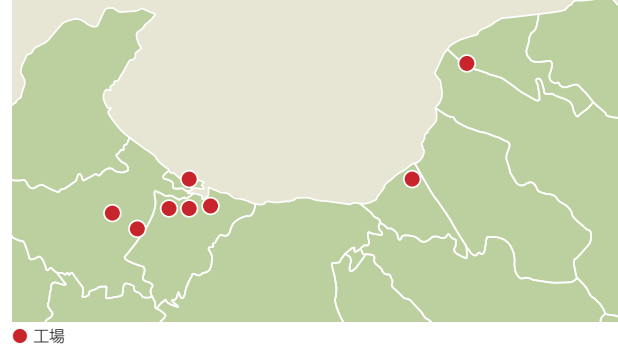
北陸の1人当たりの製品出荷額は日本海側で群を抜いており、多くのシェアトップ製品があります。

出典：1人当たりの製品出荷額：製造品出荷額等÷総人口(単位：万円)
出典：経済産業省「工業統計調査(従業者4人以上の事業所)」2019年
出典：総務省「人口推計(2019年10月1日現在)」2019年



富山県にアルミ産業が集積

日本有数のアルミ関連企業の工場が富山県に集積しております。



北海道の地域特性

- 地域ブランド1位
- 国内最大の食糧供給基地
- 全国有数の新エネルギーのポテンシャル
- 世界に誇る観光地域



良質な「食の北海道ブランド」

北海道特有の気象条件や地理的条件を背景に、多様な農山漁村が築かれ、特産物である魚や肉、豆麦類などを活かした多様な食文化があり、農業産出額や海面漁業・養殖業産出額は全国1位を誇ります。

農業産出額(上位5道県)	
都道府県	産出額(億円)
北海道	12,558
鹿児島	4,890
茨城	4,302
千葉	3,859
宮崎	3,396

出典：農林水産省「令和元年 農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」

海面漁業・養殖業産出額(上位5道県)	
都道府県	産出額(億円)
北海道	2,306.59
長崎	1,012.99
愛媛	862.38
宮城	834.45
鹿児島	760.48

出典：農林水産省「令和元年 漁業産出額」

豊富で多様なエネルギー資源

太陽光や風力、バイオマスなど「再生可能エネルギーの宝庫」であり、近年は、メガソーラーや風力発電、バイオマスエネルギーの活用施設の建設が相次いでいます。



国民が最も行きたい観光地

北海道の雄大な自然、雪、温泉などの観光資源は、国内の旅行者のみならず、外国人旅行者からも人気が高く、観光地として優れた条件を備えています。

